

情勢報告（令和8年4月分）

中央東農業振興センター嶺北農業改良普及所

さらなる経営発展を目指して ～農業経営・就農支援センター専門家派遣～



面談の様子

3月17、23日、管内の経営発展志向農家が経営改善を図るため専門家を交えて面談を行いました。

昨年の経営実績の振り返りや、今後の経営についてシミュレーションすることで改善点の洗い出し等を行いました。普及所は面談に向けた事前の調整や地域の営農実態に沿ってアドバイスをしました。

経営発展志向農家からは「目標所得を確保するためには、これくらいの売上は最低限上げなければ」等の声があり、次作の経営の方向性や目標が固まりました。

今後も普及所は、関係機関と連携し、農業者の経営発展を支援していきます。

今年の栽培も頑張りましょう！

～シトウ作付け検討会～



活発な意見が出されました

3月24日に、れいほく園芸部シトウ部会作付け検討会が開催され、部会員11名が参加しました。

普及所は、今年度から新たにシトウ栽培に取り組む方がいることを踏まえ、基礎的な栽培管理方法を中心に説明を行いました。参加者からは、農薬の使用方法等の質問や意見が交わされたことに加え、「新規栽培者のサポートを重点的に行ってほしい」という意見が出ました。

シトウは、4～5月にかけて順次定植が行われる予定です。普及所では、栽培技術の向上を目指し、関係機関と協力しながら指導を行っています。

控えめなせん定を心がけましょう！

～令和7年度ユズせん定講習会～



せん定講習会の様子

3月27日、JA高知県れいほく青果ゆず部会・無農薬柚子部会が土佐町と大豊町でせん定講習会を開催し、計21名の生産者が参加しました。

土佐町では管内の篤農家を講師に若木のせん定が実演され、大豊町では普及指導員が「切りすぎないことが大切！」をテーマに老木のせん定を行いました。

また講習会全体を通して、普及所から新改植の推進を図るべく関係事業を周知しました。

講習会では、せん定のみならず栽培技術全般に係る質疑応答が交わされたほか、出席者同士での情報交換も活発に行われ、栽培のスキルアップに繋がったと思われます。

普及所は今後も部会役員や関係機関と協力し、ユズの安定生産を目指して技術指導を行います。

水稻苗の安定供給に向けて
～(株)大豊ゆとりファーム水稻育苗事業～



浸種作業の様子

(株)大豊ゆとりファーム（以下、ゆとりファーム）では、水稻育苗事業を展開しており、地域的水稻農家へ苗を供給しています。今年度は約1万枚の苗を生産する計画としており、3月から作業が本格的に始まりました。

普及所は健苗の安定生産及びゆとりファームの育苗事業の収益向上のため、育苗マニュアルの作成支援や巡回による温度・かん水管理や病虫害防除の指導を行っています。ゆとりファーム担当者からは「今年はとても良い苗ができています。今後は気温が上がってくるので病気に気をつけたい。」といった声がありました。

普及所は今後も地域的水稻苗の安定供給やゆとりファームの経営改善に向けて支援をしていきます。